

# FRUEHAUF Fan

2006 Autumn Vol.3

[フルハーフ・ファン]

## 特集:佐藤運送株式会社

### トラック用アルミウィングボディ「Mシリーズ」 内法幅拡大タイプを追加し、新発売

日本フルハーフは、大型・中型・小型トラック用アルミウィング「Mシリーズ」に、新たに内法幅拡大タイプをラインアップし、10月10日より全国一斉に発売を開始しました。

新しいウィングボディは薄型・高剛性アオリの採用により、大型車で内法幅を2410mmに拡大。大型車では1200mm×1000mmのパレットが18枚積載可能となりました。また構造部材の徹底的な見直しにより、従来比で最大60kg（大型車・高容積ボディ）の軽量化を実現。さらに中型車の床面には、地球環境に配慮したアカシア材を標準設定（※）するとともに、構造部材の見直しとあわせて、従来比で約50〜60kgも軽量化しました。

またウィング接合部や床下部材、アオリガスケッド形状の変更により、全車において水密性も向上。さらに大型車のウィング開閉油圧駆動装置には、スロースタート&ストップ方式を採用し、雨天時の雨滴巻き込み緩和と静粛性を実現しています。

内法幅拡大タイプのアルミウィング「Mシリーズ」は、輸送・配送業務において高効率輸送に大きく貢献します。

※大型車・小型車はオプション



アカシアラミネート床材



新開発の薄型・高剛性アオリ



大型トラック用アルミウィング(大型高容積車)

中型トラック用アルミウィング

1	3	5	7	9	11	13	15	17
2	4	6	8	10	12	14	16	18

有効内法幅 2,410mm  
1,200mm

1,200mm×1,000mmパレットが2列、18枚積載可能(大型高容積車)

### TOPICS

ブレーキ機器冬季凍結防止  
水抜キャンペーンとして  
マウスパットを配布しています。

日本フルハーフでは、トレーラを保有されているお客様を対象に、リレーエマーシオンシーバル凍結防止のための日常点検をお願いしています。冬季のブレーキ機器の凍結は非常に危険です。定期的なメンテナンスにより事故防止に努めましょう。このキャンペーンの一環として、お客様には「マウスパット」を進呈しています。ご希望のお客様は、下記販売拠点または営業推進部(03-3474-5664)までお問い合わせください。



### 北関東支店 移転のご案内

下記の住所に移転しました。  
〒331-0812  
埼玉県さいたま市北区宮原町  
3丁目306番地1 第2本ビル4階  
TEL:048-661-9051  
FAX:048-661-9052  
(平成18年10月23日より)

### 日本フルハーフグループの全国ネットワーク

フルハーフはISO9001/14001の認証を取得し、環境にやさしく、高品質の製品と高信頼のサービスをお届けしています。

営業品目:アルミバン、保冷・冷凍車、ウィンググループ車、各種トレーラー、各種コンテナ、各種部品、修理  
本 社:〒243-0281 神奈川県厚木市上依知上ノ原3034 Tel.046(285)3111(代)  
東京事務所:〒140-0001 東京都品川区北品川11-20-9(ダヴィンチ品川ビル) Tel.03(3474)5720(代)

生産拠点: 苫小牧/石岡/厚木/滋賀/岡山/佐賀  
販売拠点: 北海道 011(723)8750 / 盛岡 019(672)5472 / 仙台 022(783)8831 / 新潟 025(243)0520 / 石岡 0299(24)1275 / 北関東 048(661)9051  
千葉 043(287)9711 / 東京 03(3863)8011 / 多摩 042(655)5255 / 横浜 045(662)2710 / 厚木 046(294)5010 / 静岡 054(285)3397  
四 陸 076(232)5588 / 名古屋 052(532)7051 / 大阪 06(6390)8257 / 神戸 078(656)9230 / 岡山 0869(84)4300 / 広島 082(262)2005  
四 国 087(863)6078 / 九州 092(282)9600 / 南九州 099(284)1634



URL <http://www.fruehauf.co.jp/>

### 業界 NEWS



### 大型車の車輪脱落防止対策として 冬用タイヤへの履き替え時期に啓発活動

国土交通省は、かねてから大型車の車輪脱落事故を防止するため、運送事業者や自動車整備事業者に向けて適切な点検・整備とタイヤ交換時における確かな作業について啓発活動を行ってきました。しかし依然として事故は後を絶たず、なかでも2月

と3月に事故が多発しています。このため同省は、自動車関係団体などに呼びかけ「大型車の車輪脱落防止対策に係る啓発活動連絡会」を設置。冬用タイヤの履き替え時期にあたる10月と11月に各団体が協調・連携し、重点的に啓発活動に取り組む方針

です。事故防止の注意事項としては「ホイール・ナットの規定トルクによる締め付け」「車輪脱着後、一定距離走行したらホイール・ナットを規定トルクで増し締めする」「ホイールの種類(スチール製、アルミ製)に合ったホイール・ボルトとナットを使用する」ことなど。



中型冷凍車  
&  
大型冷凍車

佐藤運送株式会社  
代表取締役社長 佐藤 治男 氏





佐藤運送株式会社  
副社長 佐藤伸治 氏



佐藤運送株式会社  
専務取締役 佐藤稔也 氏

# 日本フルハーフにおまかせ!

## Request リクエスト

## レスポンス



日本フルハーフ株式会社  
設計部 温度管理グループ  
菅原 昭彦



日本フルハーフ株式会社  
東日本営業部 北関東支店  
支店長 渡井和博

温度管理と品質に厳しい製品配送に 대응するべく、冷凍車の導入を3年越しで企画検討してきました。

日本フルハーフは、マイナス60℃対応の大型冷凍車など、多様なボディ製品で納入実績があり、今回も計画段階から参画してもらいました。その結果、荷主様のニーズに合致した、素晴らしい冷凍車を開発することができました。

荷降ろし作業中を含め配送中の荷室管理温度は、マイナス20℃以下が絶対条件でしたが、日本フルハーフは、冷凍機の設定・ボディ仕様・配送の仕組みなど、製作過程でさまざまな知恵を絞ってくれました。

実際に10月より群馬・新潟エリアの配送を開始しましたが、新しい冷凍車の性能には大変満足しています。

今後も増車を計画中ですが、さらにすぐれた冷凍車の提案を期待しています。

**1 荷降ろし作業中の冷気漏れを防止したい。**

▶ 荷室内に中仕切りを設け、その前後に保冷カーテンを設置。リヤ扉の前に荷捌きスペースを確保しました。

**2 外気熱の荷室内への侵入を遮断したい。**

▶ 路面からの放射熱や日光の直射熱を抑える真空断熱パネル (VIP) を床・天井の一部採用しました。

**3 作業者の安全性を高めたい。**

▶ 荷室内から開放できる非常脱出ナイスキーを設置。また荷室内の照明は、マイナス30℃でも瞬時に点灯する蛍光灯を採用しました。(特注品)

**4 荷降ろし作業時間を短縮するため台車を利用したい。**

▶ クリーンボード仕様の床は、小径タイヤの台車に対応します。

当社は佐藤運送様のご要望に応え、さまざまなボディ仕様の製品を納入してきました。そして今回、配送中もマイナス20℃以下に保つ、という新たな課題をいただきました。

佐藤専務様の要求に対して当社は、設計技術部門、製造部門、営業部門、冷凍機担当(大澤電気商会・大塚専務)と、厚木工場で綿密な仕様打ち合わせを行い、さらに意見交換を重ねるなかで課題をクリアし、今回2台の中型冷凍車を納入することができました。

当社は、佐藤専務様が発案された台車配送の仕組みを念頭に置きながら、クリーンボード仕様の床構造、新型蛍光灯(マイナス30℃対応)、真空断熱パネルなどをご提案しました。

今後も当社は、佐藤運送様の品質ニーズに応えられる製品づくりに取り組んでいきたいと思っております。

## 高品質な物流サービスを提供する、食品に特化した総合物流企業

群馬県伊勢崎市の流通団地に本拠を構える佐藤運送株式会社は、食品に特化した総合物流企業である。食品物流に関する独自のノウハウと先進の設備を有する同社は、品質管理が厳しいことで知られるハーゲンダッツをはじめ、大手食品メーカーやスーパーマーケットへ総合的に物流サービスを提供してきた。

また同社はISO9001やグリーン経営認証を取得するなど、適正温度帯による安全で確実な輸送体制を構築するとともに、省燃費運転や省エネ活動にも積極的に取り組んでいる。

現在、同社はグループ企業4社を擁する県内有数の物流企業へ成長。食品物流のエキスパート企業として大きく発展してきた同社は、その卓越した温度管理体制により、さらなる躍進をめざしている。

## 常時マイナス20℃以下という厳しい温度管理基準をクリア。



冷凍機サーモキングTZ85F-20を採用した中型冷凍車の温度管理性能テストは、荷主様、冷凍機メーカー担当者、冷凍機架装担当者の立ち会いのもと、日本フルハーフの厚木工場内にある恒温試験室で行われました。試験室を真夏の外気温(35℃)に保つなか、荷室内をマイナス30℃に設定。実際の作業状況を

想定してリヤドアを開放したまま、何度も荷室内へ試験担当者が出入りして温度変化をチェック。中仕切り、保冷カーテンの効果を確認しました。その結果、常時マイナス20℃という厳しい温度管理基準を見事にクリア。冷凍車のすぐれた温度管理機能を検証することができました。



## 特長

### ① 中仕切り&保冷カーテン (荷室内)

中仕切りと保冷カーテンにより冷気漏れを防止



### ② 真空断熱パネル[VIP] (床・天井の一部に採用)

最高性能の断熱材で、荷室内の温度上昇を防止



### ③ 3枚観音式リヤドア

開閉スペースを最小限にとどめることで、荷降ろし時の冷気漏れを抑制



### ④ ナイスキー (非常脱出装装置付)

荷室内に閉じ込められた際にも内側から開錠可能



### ⑤ 新型蛍光灯/抗菌カラーアルミ内板

マイナス30℃でも点灯する蛍光灯  
汚れや臭いにつきにくい抗菌加工されたカラーアルミ内板 (※特注品)



## 会社概要

会社名: 佐藤運送株式会社  
本社: 群馬県伊勢崎市関野谷町1-20  
設立: 1965年6月(創業1933年9月)  
代表者: 取締役社長 佐藤 治男  
従業員数: 250名  
従業台数: 328台(グループ会社含む)

